

<p>文化・風習 07-01</p>	<p>親族のお葬式にてます。 服装、香典の準備や振る舞いがわかりません。</p>
<p>最近は、家族や親せきなど少人数で行われることがほとんどで、出る機会は少ないかもしれません。もし呼ばれた場合の参考にしてください。</p>	
<p>通夜式と告別式</p>	<p>葬儀には通夜と告別式があります</p> <p>1 通夜 故人と親しかった人たちが別れを惜しむ儀式です どうしても告別式に参列できない場合は通夜に参列しましょう。 時間は午後6時から7時くらいが普通です</p> <p>2 告別式 故人に縁のある人たちが最後のお別れをする儀式です。 開式の時刻はさまざまですが、一般的には通夜の翌日に行われます。 1時間くらいで閉式します。</p> <p>3 参列を迷ったとき 親族の場合は親や身内に、会社関係の場合は上司や先輩に相談してください。</p> <p>4 会社への相談 親族が亡くなった場合の参列は勤め先の上司に報告してください。 会社では冠婚葬祭のさいに「特別な休暇」を用意していることがあります。 その場合は休暇で参列できます。</p> <p>5 告別式は遅刻厳禁です 告別式の遅刻はとても目立ちます。沢山の人が一時に集中するので 必ず時間前に到着して受付（記帳し香典を渡すこと）を済ませます。 (香典の金額は故人との関係やあなたの年齢・会社の立場によって変わります)</p>
<p>服装と持ち物</p>	<p>1 服装 フォーマルで落ち着いた服装で参列します。 男女問わず、必ず葬祭用の衣類は用意して置いてください。 経済的に余裕があれば「寒いとき」用と「暑いとき」用の2セットを用意してください。暑い時期に冬用の衣類は地獄です。</p>

## 1) 男性用の喪服

慶弔両用に着られるブラックスーツ。白シャツ。黒無地のネクタイ。  
靴下も黒無地。

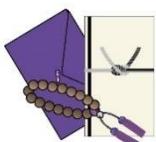
## 2) 女性用の喪服

黒のフォーマルスースかワンピース。長袖が原則。  
スカートは膝下丈。黒い布のバッグ。



## 2 数珠

焼香のときや拝礼のさいに用います。必ず準備してください。



## 3 ふくさ

靈前に供える香典をむき出しで渡すのは失礼に当たります。

喪服、数珠と一緒に「ふくさ」も用意しておいてください。

香典を「ふくさ」に包んで葬儀受付に出すと品があります

### 香典の 金額

#### 香典の金額

故人との関係やあなたの年齢や立場などによって変わります。

地域や会社による約束事もあります。必ず相談してください。

### 香典袋



葬儀の時は、黑白の水引きを使います。

表書きは、御靈前、御香典などと書きます。

差出人氏名は、表にフルネームで書きます。

住所、金額は裏に書きます。

**アドバイス お葬式はいつも急です**

文化・風習 07-02	友人が春に結婚します。式の案内状がきました。 どんな準備をしたら良いですか。																
結婚式の あんないじょう 案内状	<p>1 あなたに案内状が着たら、早めに返信をしてください。</p> <p>2 返信の内容は下のように記入するとマナーが良いです。</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">(宛名)</td> <td style="width: 50%;">(返信)</td> </tr> <tr> <td>□□□-□□□□</td> <td></td> </tr> <tr> <td>泉 沙穂都 様</td> <td>#出席</td> </tr> <tr> <td>名古屋市昭和区福江</td> <td>二女席</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■井名 名古屋 佐保子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■住所 名古屋市中区〇〇二丁目 〇一〇コーコー〇〇102</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■電話 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ご結婚おめでとうございます 喜んで出席させていただきます</td> </tr> </table>	(宛名)	(返信)	□□□-□□□□		泉 沙穂都 様	#出席	名古屋市昭和区福江	二女席		■井名 名古屋 佐保子		■住所 名古屋市中区〇〇二丁目 〇一〇コーコー〇〇102		■電話 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇		ご結婚おめでとうございます 喜んで出席させていただきます
(宛名)	(返信)																
□□□-□□□□																	
泉 沙穂都 様	#出席																
名古屋市昭和区福江	二女席																
	■井名 名古屋 佐保子																
	■住所 名古屋市中区〇〇二丁目 〇一〇コーコー〇〇102																
	■電話 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇																
	ご結婚おめでとうございます 喜んで出席させていただきます																
結婚式 参加者の 服装	<p>1 男性</p> <p>スーツ 基本は黒 グレーやネイビーでもOK</p> <p>ネクタイ 基本はシルバー 派手でなければOK</p> <p>シャツ カジュアルなボタンダウンは避けましょう</p> <p>2 女性</p> <p>ドレス 普段着のワンピースではなく「パーティードレス」で</p> <p>アクセサリー 基本はパール</p> <p>バッグ パーティバッグを持ちましょう</p> <p>靴 パンプスが基本です</p> <p>はで ふくそう ふくそう さ 派手な服装や品のない服装は避けてください。全身白、全身黒はNG、 肩出しや露出の多い服装もNG、など色々と気を付けることがありますので ネットなどで調べてみてください。</p> <p>しんろう しんぶ うたが 新郎・新婦の友人関係や品が疑われます。失敗しないように。</p>																
祝儀袋	<p>◇ 式場の受付に「ふくさ」に包んで渡すと品が良いです。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <span style="margin-left: 20px;">○ 結婚式のときは、結び切りの物を選びます。</span>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <span style="margin-right: 20px;">×</span> <span>蝶結びの物は使いません。</span>  </div>																

<p><b>祝儀の額</b> ひろうえん <b>披露宴</b></p>	<p>1 お祝いする相手との関係（友人・親族・職場）によりますが 1万円・2万円・3万円・5万円・10万円が一般的です。 <b>友人関係だと3万円を渡す人が多いと聞きます</b> 迷ったら、友人・職場上司・親族に相談してください。</p> <p>2 特に親しい中であれば、ご祝儀以外にプレゼントを贈ると良いです。</p>
<p><b>祝辞</b> (友人代表)</p>	<p>◇ あなたが新郎新婦の仲の良い友人だと、<b>祝辞を頼まれることがあります。</b> そんな時は断らないで <b>気持ちよくお祝いの言葉を述べてください。</b> 次はあなたがお願ひすることになるかもしれません。</p>
<p><b>祝電</b></p>	<p>結婚式に欠席する場合は<b>結婚祝いのメッセージ</b>を送りましょう。 「参加できなくて、とても残念だ」というのが伝わる文にしましょう。 病気やケガなどで出席できない場合も、暗いワードは避けて「あいにく外せない用がございまして」などばやかして書くのがマナーです。</p>
<p><b>テーブルマナー</b></p>	<p>1 <b>結婚式の食事は洋食が多いようです</b> テーブルマナーにも気をつけてください。</p> <p>2 <b>ナイフとフォークは外側にあるものから順に使用します</b> 緊張しますが、これから沢山の式に出席することになります。 少しずつ覚えてください。</p>
<p><b>二次会への参加</b></p>	<p>1 <b>二次会は披露宴に参加していない人が招待されます</b></p> <p>2 <b>二次会の服装</b> <b>男性</b> いつものスーツにポケットチーフやベストなどをプラスして、普段との違いをアピールしてください。 <b>女性</b> 基本はセミフォーマル。華やかなワンピースやパンツスーツもOK。</p> <p>3 <b>二次会のご祝儀</b> <b>会費制</b>が中心なので定額が多いようです。 祝儀袋や記入内容は結婚式・披露宴と同じです。</p>



文化・風習 07-03	立春や秋分はわかりますが、他の季節をあらわす啓蟄や大暑・冬至などわかりません。教えてください。																		
二十四節気とはなに	二十四節気とは太陰暦を使用していた時代（現代は太陽暦）に季節を表現するために使いました。日常会話でよく使いますので、覚えておくと役に立ちます。																		
春	<table> <tr> <td>立春（りっしゅん）</td><td>2月 4日頃</td><td>この日から立夏までの日が春</td></tr> <tr> <td>雨水（うすい）</td><td>2月 19日頃</td><td>雪から雨に変わる頃、春一番が吹く</td></tr> <tr> <td>啓蟄（けいちつ）</td><td>3月 6日頃</td><td>冬眠していた虫が穴から出てくる頃</td></tr> <tr> <td>春分（しゅんぶん）</td><td>3月 21日頃</td><td>この日をはさんで前後1週間が彼岸</td></tr> <tr> <td>清明（せいめい）</td><td>4月 5日頃</td><td>百花が咲き競う季節</td></tr> <tr> <td>穀雨（こくう）</td><td>4月 20日頃</td><td>田植えの準備が整い、柔かい雨が降る</td></tr> </table>	立春（りっしゅん）	2月 4日頃	この日から立夏までの日が春	雨水（うすい）	2月 19日頃	雪から雨に変わる頃、春一番が吹く	啓蟄（けいちつ）	3月 6日頃	冬眠していた虫が穴から出てくる頃	春分（しゅんぶん）	3月 21日頃	この日をはさんで前後1週間が彼岸	清明（せいめい）	4月 5日頃	百花が咲き競う季節	穀雨（こくう）	4月 20日頃	田植えの準備が整い、柔かい雨が降る
立春（りっしゅん）	2月 4日頃	この日から立夏までの日が春																	
雨水（うすい）	2月 19日頃	雪から雨に変わる頃、春一番が吹く																	
啓蟄（けいちつ）	3月 6日頃	冬眠していた虫が穴から出てくる頃																	
春分（しゅんぶん）	3月 21日頃	この日をはさんで前後1週間が彼岸																	
清明（せいめい）	4月 5日頃	百花が咲き競う季節																	
穀雨（こくう）	4月 20日頃	田植えの準備が整い、柔かい雨が降る																	
夏	<table> <tr> <td>立夏（りっか）</td><td>5月 6日頃</td><td>この日から立秋までが夏</td></tr> <tr> <td>小満（しょうまん）</td><td>5月 21日頃</td><td>陽気がよくなり 草木が生長するころ</td></tr> <tr> <td>芒種（ぼうしゅう）</td><td>6月 6日頃</td><td>穀物の種まきをする頃</td></tr> <tr> <td>夏至（げし）</td><td>6月 21日頃</td><td>一年中で一番昼が長い時期</td></tr> <tr> <td>小暑（しょうしょ）</td><td>7月 7日頃</td><td>梅雨があけ、本格的な夏が始まる頃</td></tr> <tr> <td>大暑（たいしょ）</td><td>7月 23日頃</td><td>夏の土用の時期</td></tr> </table>	立夏（りっか）	5月 6日頃	この日から立秋までが夏	小満（しょうまん）	5月 21日頃	陽気がよくなり 草木が生長するころ	芒種（ぼうしゅう）	6月 6日頃	穀物の種まきをする頃	夏至（げし）	6月 21日頃	一年中で一番昼が長い時期	小暑（しょうしょ）	7月 7日頃	梅雨があけ、本格的な夏が始まる頃	大暑（たいしょ）	7月 23日頃	夏の土用の時期
立夏（りっか）	5月 6日頃	この日から立秋までが夏																	
小満（しょうまん）	5月 21日頃	陽気がよくなり 草木が生長するころ																	
芒種（ぼうしゅう）	6月 6日頃	穀物の種まきをする頃																	
夏至（げし）	6月 21日頃	一年中で一番昼が長い時期																	
小暑（しょうしょ）	7月 7日頃	梅雨があけ、本格的な夏が始まる頃																	
大暑（たいしょ）	7月 23日頃	夏の土用の時期																	
秋	<table> <tr> <td>立秋（りっしゅう）</td><td>8月 7日頃</td><td>この日から立冬の前日までが秋</td></tr> <tr> <td>処暑（しょしょ）</td><td>8月 23日頃</td><td>萩の花が咲き、朝夕快い風が吹きます</td></tr> <tr> <td>白露（はくろ）</td><td>9月 8日頃</td><td>秋の風情がひとしおを感じられる頃</td></tr> <tr> <td>秋分（しゅうぶん）</td><td>9月 23日頃</td><td>昼夜の長さがほぼ同じになる頃</td></tr> <tr> <td>寒露（かんろ）</td><td>10月 8日頃</td><td>秋もいよいよ本番</td></tr> <tr> <td>霜降（そうこう）</td><td>10月 23日頃</td><td>山間部では霜が降りて化粧をする頃</td></tr> </table>	立秋（りっしゅう）	8月 7日頃	この日から立冬の前日までが秋	処暑（しょしょ）	8月 23日頃	萩の花が咲き、朝夕快い風が吹きます	白露（はくろ）	9月 8日頃	秋の風情がひとしおを感じられる頃	秋分（しゅうぶん）	9月 23日頃	昼夜の長さがほぼ同じになる頃	寒露（かんろ）	10月 8日頃	秋もいよいよ本番	霜降（そうこう）	10月 23日頃	山間部では霜が降りて化粧をする頃
立秋（りっしゅう）	8月 7日頃	この日から立冬の前日までが秋																	
処暑（しょしょ）	8月 23日頃	萩の花が咲き、朝夕快い風が吹きます																	
白露（はくろ）	9月 8日頃	秋の風情がひとしおを感じられる頃																	
秋分（しゅうぶん）	9月 23日頃	昼夜の長さがほぼ同じになる頃																	
寒露（かんろ）	10月 8日頃	秋もいよいよ本番																	
霜降（そうこう）	10月 23日頃	山間部では霜が降りて化粧をする頃																	
冬	<table> <tr> <td>立冬（りっとう）</td><td>11月 7日頃</td><td>この日から立春の前日までが冬</td></tr> <tr> <td>小雪（しょうせつ）</td><td>11月 22日頃</td><td>陽射しが弱まり冷え込みが厳しくなる</td></tr> <tr> <td>大雪（たいせつ）</td><td>12月 7日頃</td><td>山々は雪の衣をまとい冬の姿になる</td></tr> <tr> <td>冬至（とうじ）</td><td>12月 22日頃</td><td>一年中で夜が一番長い日</td></tr> <tr> <td>小寒（しょうかん）</td><td>1月 5日頃</td><td>寒の入りで、節分までが「寒」</td></tr> <tr> <td>大寒（だいかん）</td><td>1月 20日頃</td><td>一年で一番寒さの厳しい日</td></tr> </table>	立冬（りっとう）	11月 7日頃	この日から立春の前日までが冬	小雪（しょうせつ）	11月 22日頃	陽射しが弱まり冷え込みが厳しくなる	大雪（たいせつ）	12月 7日頃	山々は雪の衣をまとい冬の姿になる	冬至（とうじ）	12月 22日頃	一年中で夜が一番長い日	小寒（しょうかん）	1月 5日頃	寒の入りで、節分までが「寒」	大寒（だいかん）	1月 20日頃	一年で一番寒さの厳しい日
立冬（りっとう）	11月 7日頃	この日から立春の前日までが冬																	
小雪（しょうせつ）	11月 22日頃	陽射しが弱まり冷え込みが厳しくなる																	
大雪（たいせつ）	12月 7日頃	山々は雪の衣をまとい冬の姿になる																	
冬至（とうじ）	12月 22日頃	一年中で夜が一番長い日																	
小寒（しょうかん）	1月 5日頃	寒の入りで、節分までが「寒」																	
大寒（だいかん）	1月 20日頃	一年で一番寒さの厳しい日																	



文化・風習 07-04	あなたの干支（えと）は何ですか。よく使う割にはわかりません。整理して教えてください。
干支 (えと)	干支の始まりは中国で紀元前1400年頃だといわれています もともとは時間や月日を測るために開発され、農業等で利用されました。
言い伝え (民話)	<p><b>千支（えと）にまつわる民話</b></p> <p>昔々の大昔のある年の暮れのこと。神様が動物にお触れを出しました。  『元旦の朝、新年の挨拶に来い。一番早く来たものから12番目の者まで  順にそれぞれ1年間の動物の大将にしてやろう。』</p> <p>ところが猫は神様のところに行くのを忘れ、ねずみに聞いたとさ。  ねずみは猫にわざと1日遅れの日を教えました。猫はそれとは知らず喜んで帰りました。そのため1番がねずみで最後に猪の順で新年の挨拶をしました。  猫は1日遅れで行ったので番外で仲間に入れませんでした。</p> <p>そのため、猫は今でもねずみを恨んでねずみを追いかけまわすとさ。</p>
子(ね)	ねずみ ねずみは繁殖力が強いので子孫繁栄の意味があります
丑(うし)	牛 牛の力は強く農耕などに利用され粘り強さと誠実の象徴です
寅(とら)	とら 決断力と才知の象徴です
卯(う)	うさぎ おだやかなため家内安全 跳躍するので飛躍をあらわします
辰(たつ)	龍 伝説の生き物で権力の象徴とされ縁起の良い動物です
巳(み)	へび 脱皮を繰り返すので死と再生のシンボルとして信仰されます
午(うま)	馬 古くから人間の役に立っている動物です
未(ひつじ)	羊 群れで生活するため家族安泰を意味します
申(さる)	さる 山の賢者で山の神の使いだと信じられています
酉(とり)	鶏 とりは(とりこむ)に通じ商売繁盛に縁起がいいといいます
戌(いぬ)	犬 社会性があり忠実な動物。忠誠、献身、安全の象徴です
亥(い)	猪 猪の肉は万病を防ぐといわれます。無病息災の象徴です



文化・風習 07-05	<p>祝祭日がたくさんありますが よくわかりません。 どんな意味がありますか。</p>
国民の 祝 日	<p>国民の祝日に関する法律</p> <p>自由と平和を求めてやまない日本国民は美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな社会を築きあげるために、国民ごぞって祝い、感謝し、または記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づけています。</p> <p>●国民の祝日が日曜日にあたるときはその日の後の最も近い平日が休日になります。</p> <p>●前日と翌日を「国民の祝日」にはさまれた平日は休日となります。</p>
元 日	1月1日 年のはじめを祝う
成人の日	1月第2月曜日 大人になったことを自覚し、一生懸命生きる青年を祝う
建国記念の日	2月11日 建国をしのび、国を愛する心を養う
天皇誕生日	2月23日 天皇の誕生日を祝う
春分の日	春分の日 自然をたたえ、生物をいつくしむ
昭和の日	4月29日 復興をとげた昭和の時代を顧み、国の将来を思う
憲法記念日	5月3日 日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する
みどりの日	5月4日 自然の恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ
こどもの日	5月5日 子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかる
海の日	7月第3月曜日 海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う
山の日	8月11日 山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する
敬老の日	9月第3月曜日 社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う
秋分の日	秋分の日 祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ
スポーツの日	10月第2月曜日 スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう
文化の日	11月3日 自由と平和を愛し、文化をすすめる
勤労感謝の日	11月23日 勤労をたとび、生産を祝い、国民互いに感謝する



文化・風習 07-06	就活のインターンシップに参加しました。電話では失礼なのでお礼の手紙を書きます。書き方がわかりません。
考え方の基本	最近は電話やメールで用件を済ませることが多くなりました。 でも、お礼やお詫び、挨拶やお知らせは手紙やはがきを送るのがマナーです。
はがきと手紙	1 はがき 略式 (年賀状、暑中見舞、季節の挨拶、転居のお知らせ等) 2 手紙 正式 (目上の人宛、改まったお願ひ、お詫び等)
手紙書き方 マナーの ポイント	<p>1 タイミングが大切です 贈答品の送り状やお礼状、お祝い事や弔事のお知らせや返事など、手紙やハガキのやり取りで大事なのはタイミングです。時期を逃してしまうと、それ自体が失礼な行為となり、相手に気持ちが伝わりにくくなるかもしれません。</p> <p>2 敬語を正しく使いましょう 手紙では、相手に対して尊敬語を使い、自分には謙譲語を使います。</p> <p>1) 丁寧語 ものごとを丁寧に表現します 2) 尊敬語 相手に対して敬意を表現します 3) 謙譲語 自分や身内についてへりくだつて表現します</p>

## 手紙の見本

宛名 株式会社○○○○○○ 人事部採用担当者様	日付 令和 年 月 日	結びの挨拶 磨いて参りたいと存じます。	頭語 謹啓 この度は、就業体験の機会をえていただきましてありがとうございました。	イラスト 郵便車の運転手
所属名 就活	敬具 太郎	署名 就活 太郎	結語 ありがとうございました。	イラスト 女性の就活生

## 敬語 早見一覧表

# お疲れ様です

日常的な言葉を**丁寧語**・**尊敬語**・**謙譲語**の3つの形で表現してみました。  
日常会話や手紙などにも使いますので参考にしてください。

基本形	丁寧語	尊敬語	謙譲語
する	します	なさる、される	いたす
言う	言います	おっしゃる	申し上げる
行く	行きます	いらっしゃる、おいでになる	うかがう 参る
来る	来ます	いらっしゃる、おいでになる、	うかがう 参る
知る	知っています	お知りになる、ご存じだ	存じる、承知する
食べる	食べます	召し上がる、おあがりになる	いただく、頂戴する
見る	見ます	ご覧になる	拝見する
聞く	聞きます	お聞きになる	拝聴する、うかがう
会う	会います	お会いになる、会われる	お目にかかる
会社	-	貴社 御社	弊社
地位	-	貴職	小職

